

平成30年を迎えて



社会福祉法人札幌報恩会
理事長 山下太郎

謹賀新年

明けましておめでとうございます 新春を寿ぎ 皆様のご健勝とご多幸を
心からお祈り申し上げます 平成30年元旦

年頭所感

社会福祉法人制度は、昭和26年「社会福祉事業法」の制定をもってスタートしており、一昨年3月、その大きな改正が行なわれました。それに伴い、「理事会」「評議員会」の位置づけが変わり、「定款」の変更など多くの作業を進めてまいりました。

周りから見て、法人の経営内容がわかりやすく、法令順守がはかられ、その統治が明示されていることなどが重要です。

法人内部の充実はもとより、地域との連携を深め、まさに「社会の福祉」に貢献すること、地域の福祉ニーズへの対応力を深め、協力して成し遂げてゆくことが重要です。

札幌報恩会（札幌報恩学園）は、大正7年、法律ができる前にスタートしており、創設者である小池九一先生の「こころいき」を伺い知ることができます。

本年は、創立100周年を迎えることとなり、制度改革への対応とともに、新たな展開へのチャレンジと力の発揮が重要と考えております。

「日中活動・地域交流スペース」等の新設

平成29・30年度事業として、標記、新設工事を上野幌にて予定しております。

「日中活動スペース」は、利用者様の雨天、冬期間の健康増進に役立つ活動スペースです。

「地域交流スペース」は、子育て支援室と多世代交流の推進を目的とするスペースです。

将来に向かって、法人の統治をより確かなものとするため、「法人本部」の機能強化も進めたく、そのスペースも整備したいと考えております。いずれにしても、お金がかかることな

で、その規模・内容について、現在検討中です。優先順位は、記述の順に進めたいと思っております。

完成は平成30年9月末を予定しており、今から、とても楽しみです。

「100周年記念行事」について

数年前から「環境整備委員会」を立ち上げ、春と秋に敷地内のすべてを巡回し、検討し、その整備を計画的に進めてまいりました。

旧正門からの進入路を舗装整備し、上野幌神社との隣接地を整備し、「あずまや」も新設致しました。「あずまや」はもう一棟増設の予定であり、一部フェンスの設置や、外周境界線の確定、更には、インフラの敷設図面の作成なども完成させる予定です。

「100周年記念事業推進委員会」が立ち上がり、各種記念事業についての意見交換、検討・集約が進められております。

利用者の皆様が快適で、安心して楽しく生活できることが第一義であり、地域の皆さんと連携し、お互いさまの間柄を育ててゆくことも重要です。

歴史については、90周年からの10カ年にスポットを当てて集約することとなり、それ以前は、先達がすでにまとめられており、それが、札幌報恩会の強みであり、伝統でもあると思っています。

バイセンテニアル「200周年」に向かって、利用者の皆様が楽しめ、役職員の皆様様に弾みがつく、メモリアルイヤーになることを念願しております。

変わらぬご支援のほど、心からお願い申し上げます。ご挨拶と致します。